

第23回 全国中学生創造ものづくり教育フェア
〈家庭分野〉 栃木県予選会実施要項

1 大会名称 第23回 全国中学生創造ものづくり教育フェア〈家庭分野〉栃木県予選会
－ 豊かな生活を創るアイデアバッグコンクール部門－

2 趣 旨

- (1) 「ものづくり」の発表を通して、知識や技能を習得し、活用することによりものをつくることや活用の喜びを味わう機会とする。
- (2) 技術・家庭科で習得した知識や技能を生かした被服作品等の設計、製作を通して、ものをつくる喜びや仲間と競技をする喜びを味わう機会とする。また、発表の場を通して、他校生徒との交流を図り、合わせて知識や技能の向上を図る機会とする。
- (3) 自分や家族の生活をより豊かにするために、個性や工夫を生かした製作の目的を明確にすることにより、製作や活用の喜びを味わう機会とする。
- (4) 製作を通して、ものを大切に作る心や成就感、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感する機会とする。

3 参加対象 栃木県の中学生

4 開催日時 令和5年11月5日(日)

5 開催場所 栃木市立大平中学校

課 題 地区予選課題 「豊かな生活を創るアイデアバッグとレポート」

県予選課題 「豊かな生活を創るアイデアバッグとプレゼンテーション」

- ・ 製作したバッグについて3分以内の発表を行う。その際、利用方法、「自分や家族の生活を豊かにする視点」「私にとってのものづくりの視点」「衣服の再利用の工夫の視点」から発表をする。

※ 実施要項などの書類関係は、全日中技・家HPの「第23回 全国中学生創造ものづくり教育フェア」サイト内「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクールよりダウンロードし、使用する。

6 競技方法

- (1) 地区予選課題の通過者を対象に県大会(第1次予選会・レポート審査)を行い、県フェア(第2次予選会・プレゼンテーション)出場者を決定する。
- (2) 県フェア(第2次予選会)の成績優秀者を関東甲信越ブロック予選大会へ2組推薦する。

7 競技の課題および課題製作上の注意

第23回全国中学生創造ものづくり教育フェアの実施要項に準ずる。

①課題はバッグとする。

②使用する布について

・バッグ本体の全部または、一部に、家庭にある自分または家族の衣服を用いる。その他、衣服以外の布も加えてもよい。

③デザイン及び機能について

・衣服の一部をそのままの形で一つ以上活用する。(ポケットの形状やボタンなど)
・バッグの口を閉じられるようにして中身が出ない工夫をする。

④縫製について

・入れるものに必要な強度が保たれるように、布目の方向や縫い目の大きさ及び縫い代の始末の仕方などを工夫する。
・バッグのいずれかの部分にまつり縫いを取り入れる。
・スナップは、必ず1つ以上付ける。
・3時間程度で製作できる作品とする。

⑤レポートについて

・レポートには、「テーマ」、「構想」、「自分や家族の生活を豊かにする視点」、「私にとってのものづくりの視点」と「衣服の再利用の工夫(どの部分をどのように活用するか)」その理由を明記すること。また、まつり縫い・スナップを取り入れた部分を明記すること(朱書きする)。
・解体前の全体像を、写真またはイラストで表す。

※全日中技・家HPの「第23回 全国中学生創造ものづくり教育フェア」サイト内「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクールホームページを確認の上、条件に合致した作品を製作すること。1つでも漏れていた場合は審査の対象外とする。レポートも同様である。

8 審査 第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア〈家庭分野〉

栃木県予選会実行委員

9 募集期間 令和5年8月29日(火)～9月22日(金)

10 申し込み方法 地区ごとに代表者を決定し、担当者(フェア部員)が10月2日(月)の第1次審査会に持参する。

〈第1次審査会会場〉 栃木市立大平中学校

11 表彰 県教育長賞 県技・家部会長賞 審査員特別賞 優秀賞

※ 地区大会を通過して県大会に参加した作品には、優良賞を送る。

※ 県教育長賞、県技・家部会長賞の受賞者2名を関東甲信越ブロック予選大会へ推薦する。

12 主 催 栃木県中学校教育研究会 技術・家庭部会

13 後 援 栃木県教育委員会

14 問い合わせ先 <バッグ部門>担当

宇都宮市立星が丘中学校 星野 めぐみ

TEL 028-622-6542 FAX 028-650-4021